



2023

農×移住フィールド連続講座

田んぼの1年生

自分でお米を作りたい！

将来、小さい田畑で自給したい！

農業したいけど、まずは試したい！

ちゃんと習ったことないけど・・・

初めてでもできるかな？

日程

開催地 南丹市日吉町中世木地域
(最寄り：JR山陰線日吉駅)

定例開催 年9回
(4月～11月にて月1～2回開催予定)

+

稲と個人のペースによって適宜作業

定期開催日各回9：30～16：00頃

初回開催 4月23日(日)

→申込み締め切り4月20日(木)

参加費

1人30,000円/年

または2人1組45,000円/年

(9回の定例日参加費、保険料、必要な道具、他込)

※詳細は裏面をご参照ください。

問合せ・申込み

つむぎ tsumugi.nantan@gmail.com または



小さい区画の田んぼで、できるだけ手作業でお米作りができるようになるための基礎知識やワザ、地域との連携について、年間9回の実践&学びを通して身につける連続講座です。



里山豊かな南丹で、つくる暮らしをはじめましょう

1年目は広さ合計約3.2アールの2枚の田んぼを、減農薬と無農薬に分けてみんなで育てます。収穫したお米はみんなで分けます。

2年目を以降の継続を希望される場合は、同集落の小区画の田んぼを自立してやっていくことも含め、相談可能です。

①畔はどうやって作る？水はどこから？草は何回刈る？どうしたらたくさん採れる？などなど、お米を育てるための作業、工程、必要な道具や知識までを地域の方から学びます。

②草を刈る範囲や水の使い方など集落それぞれにあるルールを学びます。

③小さい田畑でも草刈りは必須！刈払い機（主にロープ式）の使い方とメンテナンスをマスターしよう！



④将来、自立して小さい田んぼをするために、農地の取得や管理など、公式なきまりについて学びます。

⑤小さい田畑でも地域の農業や作物などについての知識は大切！地域の農業について学びます。

年間予定

※天候や生育状況等により内容が変更になることがあります。

4月 23日 オリエンテーション、田んぼ周りの準備（水路整備、電柵補修など）

5月 前半：畔塗り、刈払い機講習会

後半：田植え

6月～8月 草取り、草刈り、水の管理

9月～10月 稲刈り、稲干し、

脱穀、粃摺り、収穫祭

11月 1年のまとめと今後の相談会

参加費に含まれるもの

・定例開催日9回の実践型講習（刈払い機講習会、座学、資料等を含む）

・必要な道具の利用※1 ・保険代

・田んぼの状況定期配信

・定例開催日以外での施設利用※2

・年間村人パスポート※3

・収穫したお米（シェア）

・4月以降の定例開催日は、初回開催後に調整します。

・後半に④⑤の座学を実施します。

・田んぼの様子を定期的にお知らせします。定例日以外でもいつでも作業にお越しくください。

・集落内の黒豆や野菜の畑のお手伝いも大歓迎！

※1 必要な作業着、昼食はご持参ください。

※2 駐車、休憩、着替え、トイレ利用可

※3 定例日以外での援農やのんびり訪問に！

※4 最寄り駅からの送迎はご相談ください。

この連続講座は、中世木中山間組合、南丹市、日吉町森林組合のご協力を頂き実施しています。

つむぎは、南丹市移住ガイドブック「楽しい移住 - 京の里山なんたんで、であう・つくる・つながるくらし」（2019年発刊）を作るなど、南丹市への移住をサポートしている団体です。 HP <https://tsumugi-kyoto.net/>